

## ロシアに対する省エネ支援事業（第一次専門家派遣）を実施しました

一般財団法人省エネルギーセンターは経済産業省の委託を受けて、ロシアのビル省エネルギー推進の為、H29.8.7～H29.8.12の6日間、カムチャツカ地方ペドロパブロフスク市のカムチャツカ教育大学の省エネ診断に関する事業のLOI調印式および予備診断を実施しました。

ロシアは建物関係のエネルギー消費が全体消費の中で大きな割合を占め、特に暖房用エネルギーが大きくその省エネルギー対策が大きな課題となっています。今回カムチャツカ州ペドロパブロフスク市のカムチャツカ教育大学の省エネルギー診断は、日露エネルギーイニシアティブ協議会（省エネルギー・再生可能エネルギーWG）の活動の一環として、ロシア連邦エネルギー省からの要望を踏まえ、両国間の合意の下で実施されます。



### (1) 省エネルギー診断に関するLOI調印式の実施。

今回の省エネルギー診断の実施内容に関し協力範囲を定義した Letter of Intent (LOI) をロシア側と締結しました。

LOI 締結に関して、日本側は ECCJ を代表とし、ロシア側はカムチャツカ州エネルギー開発・省エネルギーセンター (Regional Center of Energetics Development and Energy Saving :RCEDES) を代表とし、省エネルギー診断の実施に加え、その診断結果を報告するセミナーを開催することも盛り込まれています。

### (2) 予備調査実施。

本格調査計画を立案するため、大学建物 (Kamchatka teachers College) に関し、具体的な建物構造調査と建物運用者にエネルギー使用実態のヒアリング等を行いました。また、詳細なエネルギーデータの提供をロシア側に依頼しました。

本格調査時 (2018 年 1 月 23 日 月) には、日本から計測計器を持ち込み、エネルギー使用実態を定量的に調査し、その結果に基づき、改善提案を行う予定としています。